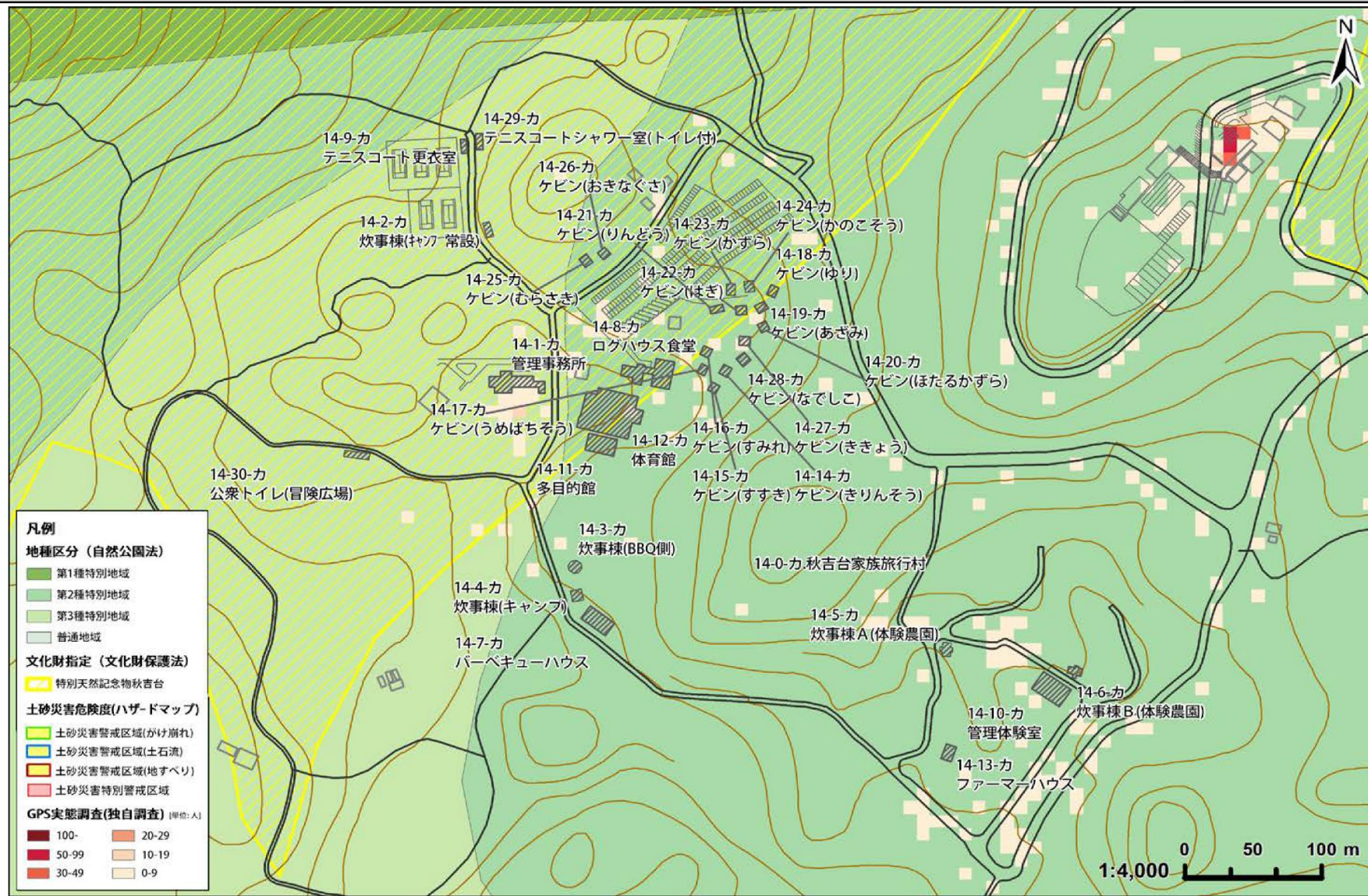


エリア配置図



エリア番号	エリア名称
-------	-------

カ	秋吉台家族旅行村
---	----------

エリアの位置づけ

・黒谷口西側に隣接する、家族や仲間たちと気軽にアウトドアレジャーを楽しむことを目的としたキャンプ場である。旧秋芳町の町営施設。  
 ・屋外キャンプサイト、1棟貸のケビンの他、時間貸をしているバーベキューハウスや体育館や研修室、テニスコート等が立地している。

エリア周辺の状況

・喫茶・食事を提供できる施設が1施設・昼間のみ営業であること等、多様なニーズに応えるサービスが提供できていない印象。  
 ・山口県国定公園の利用計画(昭和48年)による、広谷集団施設地区に該当。  
 ・暗い印象で施設の視認性が悪い。案内サイン等も不十分で、施設全貌を掴みにくい。  
 ・秋吉台国定公園内、かつ一部は特別天然記念物上に立地しており、敷地内には表出する石灰石が多数みられるが、立地的特異性による独自価値を活用できていない。

ポータルフォリオ分析に基く施設整備に関する課題抽出・整理

・総合的に、ソフト評価は平均を下回り、ハード評価は平均を上回る。ソフト面の改善を優先的に検討することが望まれる。  
 ・14-1-カ.管理事務所は、ハード評価が非常に低く、特に老朽化判定は施設内で最も低い。施設全体の窓口機能として、ハード含めた整備検討が望まれる。  
 ・14-8-カ.ログハウス食堂は、ソフト・ハード評価共に平均をやや下回るが、ソフト評価における利用状況では施設内で最も高く、飲食利用の需要があることが想定される。  
 ・14-14~28カ.ケビンは、ソフト・ハード評価共に平均を上回り、ソフト評価における利用状況では施設内で最も高く、貸切屋内型宿泊施設の需要が高いと想定される。  
 ・14-31-カ.キャンプサイトはハード評価は高いが、ソフト評価うち特に利用状況は大きく平均を下回る。サービス提供のない屋外テント式キャンプの需要が高くないことが想定される。

エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿

・秋吉台国定公園の中心に位置し、点在する石灰石やカルスト台地特有の地形等「秋吉台らしい」景観をより感じ取れる宿泊体験の提供が独自価値となる可能性がある。  
 ・近年のキャンプは、ホテル並のサービスを提供し気軽に野営が楽しめるスタイルが人気を集めている。本エリアについても、サービス内容・レベルの検討が望まれる。

管理番号-棟番号-エリア番号	14-0-カ	14-8-カ	14-14-カ	14-31-カ	エリア総合	全施設平均
施設名称	秋吉台家族旅行村（総合）	ログハウス食堂	ケビン（きりんそう）	キャンプサイト		
ハード評価	老朽化判定	28.9	20.0	38.5	30.5	
	建築年数	27.5	27.0	28.7	34.4	
	災害危険度	25.0	25.0	25.0	25.0	
	耐震性能	29.8	25.0	25.0	50.0	
	バリアフリー性能	12.5	0.0	0.0	0.0	
合計	24.7	19.4	23.4	28.0	24.7	21.3
ソフト評価	経済的評価	13.7	13.7	14.4	14.2	
	利用状況	11.2	13.4	34.9	8.2	
	実態調査	2.9	2.9	2.9	2.9	
	満足度調査	15.0	15.0	15.0	15.0	
合計	10.7	11.2	16.8	10.1	10.7	13.9